

2010年5月31日

News Release

株式会社テクノ・システム・リサーチ
 代表取締役社長；藤田 正雄
 03(3851)5651
 URL: www.t-s-r.co.jp

テクノ・システム・リサーチ リチウムイオン電池市場調査分析結果を発表

～ 2009年のリチウムイオン電池市場は対前年比4%増の約33億個。中・長期的にはパワーアプリケーションとEV/HEVに期待！～

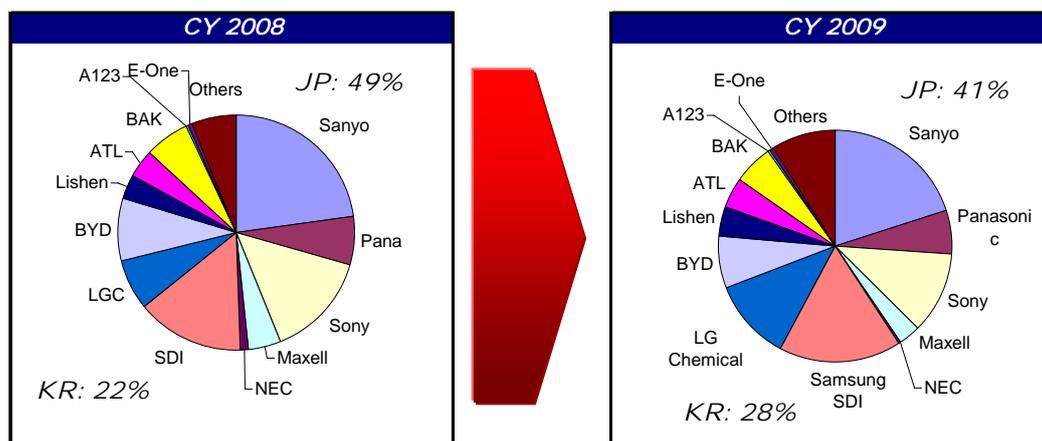
株式会社テクノ・システム・リサーチ（所在地：東京都千代田区岩本町 3-7-4）は、リチウムイオン電池（以降「LIB」）の市場分析結果を発表しました。

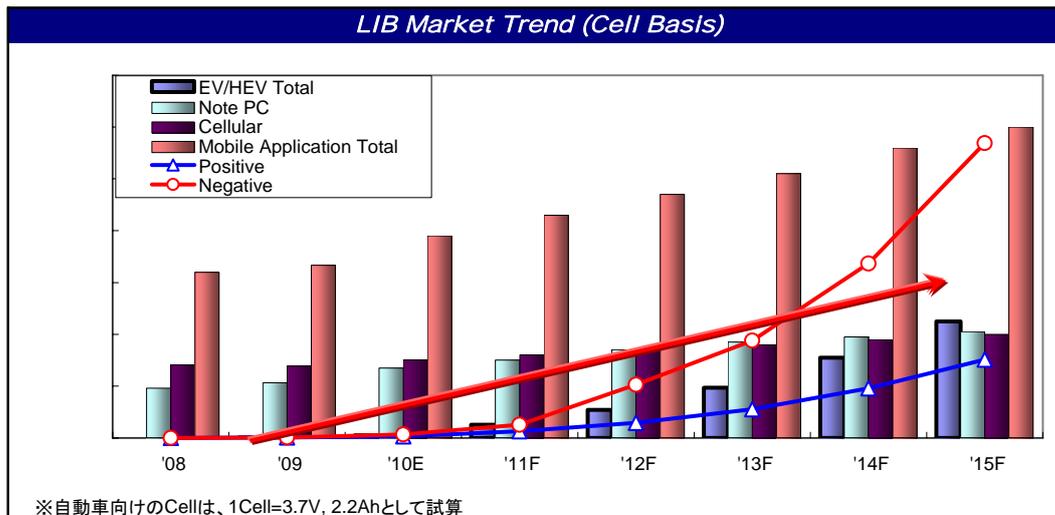
2009年のLIB市場は一言で言えば、“世界不況による市場縮小からの回復”ということであった。2008年9月のリーマンショック以降、多くのモバイルアプリケーションで、2008年の年末商戦が苦戦。その影響で、2009年のLIB市場は、大不振からのスタートであった。

そのような中、LIB市場は、NotePC市場の好調と、国策などの後押しによる早いタイミングでの市場回復によって、数量ベースでは順調に回復を果たし、セルベースで対前年比4%増の約33億個の出荷となった。しかし、その一方でLIBの市場構造は、リーマンショック以降の1年半で大きく変化することとなった。

リーマンショックは以下、多くのことをもたらしたが、それは韓国LIBメーカーへの追い風となり、韓国LIB二社の競争力を大きく向上させることとなった。

- ① モバイルアプリケーション市場での韓国企業の好調。
- ② モバイルアプリケーション市場での積極的なコストダウン戦略によるLIB単価下落。
- ③ Won安を背景にした、韓国LIBメーカーの価格競争力の強化。
- ④ Won安を背景にした、韓国LIB材料メーカーの価格競争力の強化。
- ⑤ 韓国企業の早いタイミングでの高容量製品投入。
- ⑥ Panasonicの三洋電機買収。





2010年は、種々のモバイルアプリケーション市場で需要は旺盛となっている。NotePC市場は、2009年から各種部材不足に悩まされながらも需要は旺盛。2010年は欧州経済危機の影響が出始める中、2010年後半はBack to School 需要とビジネス需要の回復から、順調に生産は進むものとみられている。数量ベースでは好調であるが、価格競争は熾烈化、LIB業界の利益圧縮とメーカー勢力変化を招いている。

携帯電話ではスマートフォン市場好調により、ハイエンドLIBやラミネートLIBの需要が急速に強まっており、それがLIBメーカーに恩恵をもたらしている。

また、2009年は停滞していた電動工具市場が2010年は復活の基調が強まっており、NotePC、携帯電話に次ぐ地位を確固たるものとする見込み。

中・長期的には、自動車市場を除けば、Note PC市場と携帯電話市場の二大アプリケーションの構造は変わらないが、電動シェーバーや電動アシスト自転車、電動バイクなども含めた“パワーアプリケーション市場”の市場成長が期待される。

自動車市場は、EV、PHEV、HEV、ともに今後LIBの積極採用が期待される最重要市場である。2015年には、18650換算ベースで、NotePC市場をも越える市場となる見通しで、仮に日産自動車など、各自動車メーカーの計画通りに普及が進めば、携帯電話や電動工具も含めた小型LIB全体の市場と同規模のLIB需要を創出する可能性も十分にある。

上記リリースは、「2010年版 LIB市場のマーケティング分析」(2010年5月発刊)の概要です。同資料は、リチウムイオン電池市場を中心に扱った調査報告書であり、各LIBメーカーの事業動向だけでなく、13個の小型LIB主要アプリケーションと、自動車 (EV、PHEV、HEV) についての直近の市場動向と長期予測、それに対する個々の各LIBメーカーの参入状況まで網羅することで、LIB市場を分析した調査分析レポートとなっております。

【リリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第1グループ 山本 連三(yamamoto@t-s-r.co.jp) 加藤 将 (kato@t-s-r.co.jp)

Tel: 03-3851-5651 e-Mail: info@t-s-r.co.jp